

美しい 県土づくりNEWS



2011年
2月

岩手県 県土整備部
手づくり広報誌 79号
平成 23年 2月 10日発行
編集 県土整備企画室

目次

- 2 県土整備部 平成 23 年度当初予算のポイント
- 3 年末年始に県内各地で大雪被害
- 4 「岩手県港湾セミナー」を開催
- 5 「建設業新分野・新事業発表フォーラム」を開催
- 6 「第 39 回土木技術研究発表会」を開催
- 7 国道 397 号分限城工区が部分供用
- 8 主要地方道一戸山形線来田地区の道路改良事業が完成
- 9 二戸警察署新庁舎が完成
- 10 一般県道平泉停車場中尊寺線「中尊寺通り」の整備
- 12 「八幡平アスピーテライン」、「樹海ライン」開通予定日のお知らせ
- 13 「第3回岩手県屋外広告物フォーラム」開催のお知らせ
- 14 大阪、札幌から日帰りOK!いわて花巻空港を是非ご利用ください
- 15 明日を担う若手職員を紹介します

(沿岸広域振興局土木部宮古土木センター 菊地技師)

黄金の國、
いわて。

希望郷いわて

いわて花巻空港国際チャーター便利用者 10 万人達成！！

～ 平成 12 年の初就航から 11 年 ～

平成 23 年 1 月 25 日(火)、いわて花巻空港の国際チャーター便利用者数が 10 万人を達成しました。平成 12 年の初就航から 11 年目での達成となりました。

当日は、台湾発中華航空のお客様を鹿踊りの演舞で歓迎し、10 万人目を代表して台北市在住の陳慧雯(チェン・ファイウェン)さんに南部鉄器などの記念品が贈られました。

今後とも、いわて花巻空港が皆さんから親しまれ、地域とともにより一層発展する空港となるよう取り組んでいきますので、ご旅行、ご出張の際には、是非いわて花巻空港をご利用ください！



県土整備部 平成23年度当初予算のポイント

～ 経済対策など緊急の課題に対応する「骨太の骨格予算」！ ～

県土整備企画室

予算額

(単位：百万円、%)

23年度当初予算	22年度当初予算	増減額	増減率
66,875.5	75,755.8	8,880.3	11.7

重点化する施策と主な構成事業

平成23年度当初予算は、いわゆる「骨格予算」であり、新規事業や政策的な経費については、今後、6月補正予算として編成する予定です。

当初予算における3つの視点

平泉の文化遺産を核とする観光振興

地域経済の活性化

県民誰もが安心して暮らすことができる地域の基盤づくり

産業を支える社会資本の整備

産業を支援する幹線道路ネットワークの構築などの推進、港湾や空港の整備と利活用の促進に向けた取組を展開します。

- 幹線道路ネットワークの構築
- 地域間の交流・連携の基盤となる道路整備の推進
- 港湾の整備と利活用の促進
- いわて花巻空港の整備と利用の促進

安全で安心な暮らしを支える社会資本の整備

地震や津波、洪水、土砂災害などから、県民の安全・安心を確保するため、防災施設の整備やソフト施策を推進します。また、県民がいきいきと暮らせる社会を実現させるため、地域医療を支援する道路整備や歩道や道路防災施設の整備に取り組みます。

- 地震・津波災害対策の推進
- 洪水・土砂災害対策の推進
- 日常生活を支える安全な道づくりの推進

豊かで快適な環境を創造する基盤づくり

道路等の都市基盤整備やユニバーサルデザインによる公共施設等の整備、地域特性を活かし省エネにも配慮した居住環境づくりや良好な水辺空間の保全と整備、生活排水対策などを進めていきます。

- 環境に優しいコンパクトな都市づくりの推進
- 美しく魅力あるまちづくりの推進
- ひとにやさしいまちづくりの推進
- 地域特性を活かし省エネにも配慮した居住環境づくりの推進
- 良好な水辺空間の保全と整備の推進
- 衛生的で快適な生活環境の確保

社会資本の維持管理と担い手の育成・確保

社会資本の維持管理を「事後保全型」から「予防保全型」へ移行し長寿命化を図ると共に、県民との協働により取り組みます。また、社会資本整備や住宅づくりの担い手である建設企業を育成・確保する環境整備を進めます。

- 維持管理計画に基づく適切な維持管理の推進
- 住民との協働による維持管理の推進
- 担い手としての建設企業の育成・確保

県土整備部の平成23年度当初予算のポイント、実施する主要事業の詳細は、こちらのHPをご覧ください！

<http://www.pref.iwate.jp/view.rbz?nd=2160&of=1&ik=3&pnp=17&pnp=66&pnp=2156&pnp=2160&cd=30366>

年末年始に県内各地で大雪被害！！

～ 県内各地で倒木等による通行止めが発生 ～

道路環境課

昨年 12 月下旬から今年の正月にかけて、県内は、低気圧による湿った暖かい空気の影響で、全域で大雪や大雨、強風に見舞われ、大荒れの天気となりました。今回の大雪では、湿った重い雪が降り続いたため、県内各地で倒木が道路を塞いだことなどから、県管理道路では、岩手町の国道 281 号大坊峠など、66 箇所でも全面通行止めが発生しました。また、倒木が電線を切断したため、停電被害が県内 7 市 10 町 5 村の延べ 73,000 戸超で発生し、県民生活に多大な影響を及ぼしました。

県では、広域振興局土木部、土木センター間で応援体制をとり、昼夜を問わず除雪作業を実施しましたが、各地で発生した倒木の処理に時間を費やしたほか、高速道路の通行止めにより発生した一般道の渋滞などで思うように除雪作業が進まなかったため、開通まで時間を要した箇所もありました。

2 月 1 日時点での県内の降雪量は、盛岡市で 180cm（過去 5 カ年平均の 1.37 倍）葛巻町元木で 307cm（過去 3 カ年平均の 1.68 倍）岩泉町国境で 316cm（過去 3 カ年平均の 1.32 倍）となっています。今回の大雪により、倒木処理を行う場合の関係機関との情報共有や、除雪機械の配置などの課題が明らかになりましたので、今後は、関係機関による連絡体制の強化や除雪機械の配置見直しなど、冬期間の安全・安心な交通の確保に取り組んでいきます。



主要地方道一戸葛巻線 葛巻町小田地内



一般国道 281 号 岩手町大坊峠地内



一般県道藪川川口線 岩手町宮古平地区

一般国道 281 号 岩手町大坊峠地内



「岩手県港湾セミナー」を開催しました！！

～ 港湾の利活用の促進に向けて ～

港湾課

県内港湾の利活用の促進に向けて、1月21日（金）に東京都で「岩手県港湾セミナー」を開催しました。本セミナーは、首都圏の企業の皆さんに県内の港湾について理解を深めていただき、港湾取扱貨物の増大や、臨海工業用地への企業誘致につなげる取組みとして開催しているもので、平成12年度にはじめて開催してから今年度で10回目となりました。開催に当たっては、県、市の港湾関係者はもとより、県港湾協会、各重要港湾の利用促進協議会、港湾荷役企業が協力し、港湾の利活用促進に取り組む官民が一体となって取り組みました。

当日、会場の東京銀行協会ビルの銀行倶楽部大ホールには、約40社から総勢70名の方々にお集りいただきました。また、今回は県外港湾との連携を図るため、京浜港（東京港、川崎港、横浜港）の港湾管理者の方々にも来賓として出席いただきました。

本セミナーでは、達増知事、平井県土整備部長による県内港湾の説明のほか、政治評論家森田実先生による「これからの地方港湾のあり方」と題した講演を行い、参加者から好評を得られました。

今後とも、本セミナーの開催などを通じて、本県の港湾が企業の皆さんに理解され、利活用が促進されるとともに、港湾の振興により沿岸地域の活性化が図られるよう、関係各市と連携したポートセールスに取り組んでいきます。

知事による港湾説明の様子



政治評論家森田実氏の講演



情報交換会で出席者と懇談する達増知事



情報交換会の様子



「建設業新分野・新事業発表フォーラム」を開催

～ 最優秀賞3社、優秀賞4社を表彰 ～

建設技術振興課

平成23年2月1日、(社)岩手県建設業協会、岩手県等の主催で「第8回新分野・新事業発表フォーラム」を盛岡市のエスポワールいわてで開催しました。

フォーラムには建設企業、金融関係者など約120名が出席し、厳しい経営環境が続く中で新分野・新事業に挑戦する企業の取組みの成果を確認しました。

フォーラムでは、建設業新分野進出等表彰式を行ない、今年度は、最優秀賞3社、優秀賞4社を表彰しました。この建設業新分野進出等表彰は、農林水産、環境リサイクル、保健福祉など、各分野における先進的・意欲的な企業の取組みを顕彰し、広く奨励することを目的に、平成17年度から行っているものです。

表彰式の後には、受賞企業から、新分野・新事業の表彰事業の取組みについてプレゼンテーションを行なっていただきました。

また、商品・事業PRブースを設置し、新分野進出等企业24社による事業のパネル展示を行なったほか、農業分野等に進出している14社による商品のチャリティー販売も行なわれました。なお、売上金は、岩手県共同募金会に全額寄付する予定です。



平成22年度 建設業新分野進出等表彰



商品・事業PRブース

平成22年度建設業新分野進出等表彰企業

【最優秀賞】

	分 野	企 業 名	所在地	事 業 内 容
1	農 林 水 産	丸正建設(株)	平 泉 町	農産物の加工品開発と6次産業化へのチャレンジ事業
2	保 健 福 祉 生 活	和田建設(有)	北 上 市	託児所「こどもの国虹色」運営事業
3	サービス関連(小売・飲食・サービス等)	プレステック(株)	久 慈 市	地域と共生を図る燃料販売事業

【優秀賞】

1	農 林 水 産	大崎建設(株)	田野畑村	菌床椎茸栽培、包装出荷事業
2	環 境 リ サ イ ク ル	工藤建設(株)	奥 州 市	GeoPro Road「空気直接熱交換方式」による空調システム事業
3	建設(技術・工法、リフォーム等)	(株)ホケイ建設	北 上 市	グランドカバープランツ(地覆植物)施工販売事業
4	サービス関連(小売・飲食・サービス等)	(株)田中建設	西和賀町	沢内天然ワラビ園・ワラビ加工品開発事業

第39回土木技術研究発表会を開催！

建設技術振興課

平成23年1月20日～21日の2日間、いわて県民情報交流センター（アイーナ）において、県土整備部主催、岩手県建設技術協会・（財）岩手県土木技術振興協会の共催で、平成22年度（第39回）土木技術研究発表会を開催しました。

開会にあたり、平井県土整備部長が挨拶を行い、「現在は仕事における制約事項や要求事項が増加し、その水準も高くなっている。このプレッシャーに負けることなく、新しい価値を見出していくことが重要。他の職員の仕事、事例なども学び、自らの仕事と相対化し評価することも必要である」と参加者に呼びかけました。

発表会には、県・市町村等の土木技術職員約180名が参加し、県土整備部からは道路、河川、建築など各分野における土木行政課題に対する取組みや、施工事例の紹介などの発表がありました。また、農林水産部、企業局、工業技術センターからもそれぞれの取組みの発表があり、合わせて16件の研究発表がありました。

特別講演では、前宮古市長で現在は盛岡大学栄養科学部教授の熊坂義裕氏から「市長12年の経験から感じたこと」と題して、市長として感じた技術者や土木行政の役割についてその思いを話していただき、「医者や技術者である理系の人は、正しい事をしていれば、世間が分かってくれると思込んでいる。道路づくりにしろ、必要な道路を作ってきたとアピールする努力も必要」との大変参考となるメッセージもいただきました。

また、県南広域振興局一関土木センター菊池所長からは、特別発表「岩手・宮城内陸地震災害復旧の概要について」と題して、地震の特徴や、関係機関等との様々な調整など本復旧までの工期短縮の取組みなどの発表がありました。

今後とも、このような発表会などを通じて、本県の社会資本整備を担う土木技術職員の技術力向上に向けて取り組んでいきます。

平井県土整備部長あいさつ



熊坂義裕教授の特別講演



県土整備部職員の発表



発表会の様子



国道 397 号分限城工区が部分供用！！

～ 産業を支える交通ネットワークの構築に向けて～

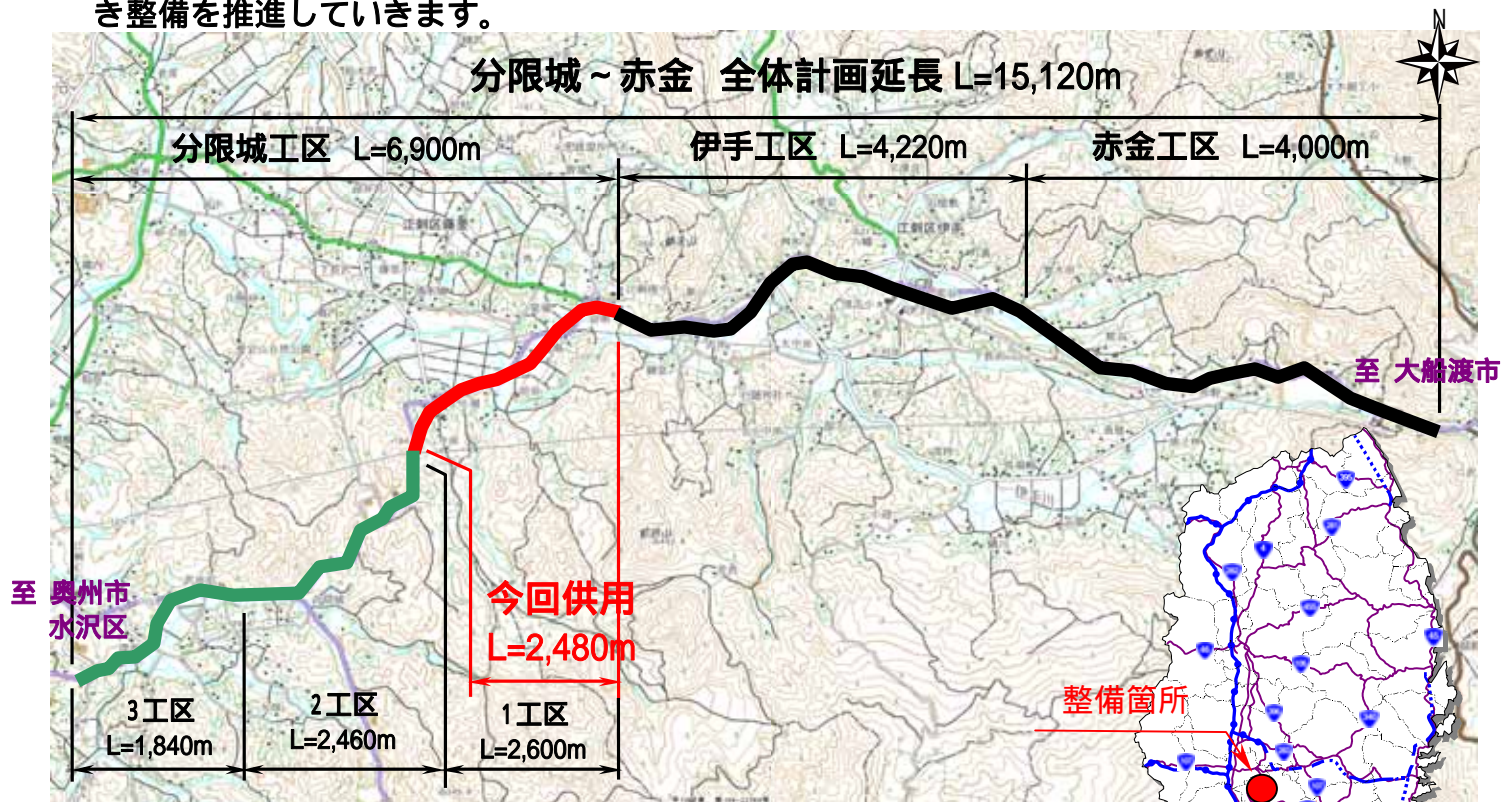
道路建設課

県南広域振興局土木部

県が平成6年度から奥州市で整備を進めてきた一般国道397号分限城～赤金地区の分限城工区2,480mが平成22年12月20日に部分供用しました。

国道397号は、工業団地等が集積する内陸部と重要港湾大船渡港を結び、県内の産業を支える重要な道路ですが、奥州市分限城地区は、道路の幅が狭く、急カーブ、急勾配が連続しており、安全で円滑な交通の支障となっていました。今回の部分供用により、隘路箇所が一部解消し、産業を支える交通ネットワークの構築に向けて一歩前進しました。

分限城～赤金地区は、全体延長15.12kmのうち、今回の部分供用を合わせて10.7kmを部分供用済みです。今後は、残る4.42kmの整備を進め、早期に全線開通できるよう引き続き整備を推進していきます。



主要地方道一戸山形線来田地区の道路改良事業が完成！！

県北広域振興局土木部 二戸土木センター

県が平成 11 年度から整備を進めてきた二戸郡一戸町の主要地方道一戸山形線来田地区の道路改良事業が、平成 23 年 1 月 19 日に完成しました。

本路線は、一戸町から九戸村を經由して久慈市山形町に至る重要な生活道路ですが、当該区間は幅員が狭小で道路線形も悪いため、車両のすれ違いが困難であり、特に堂ノ前橋の前後は縦断勾配も急で冬期間の安全な通行の支障となっていました。

今回の道路改良事業により、堂ノ前橋を架け替え、幅員・線形・縦断勾配の隘路箇所を解消したことから、交通の安全が確保され地域間交流の促進が期待されます。また、地域の皆さんからも、憩いの場である来田保養センター（来田温泉）に行きやすくなった、との声が寄せられてます。



【整備前】



【整備後】



二戸警察署新庁舎が完成！！

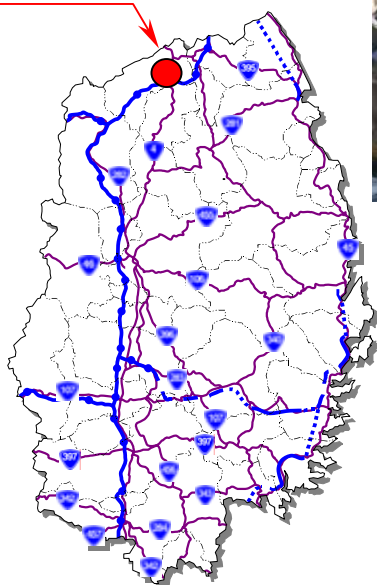
～ ユニバーサルデザインに配慮した施設整備 ～

建築住宅課

県が、二戸市で整備を進めていた二戸警察署の新庁舎が平成 22 年 12 月 8 日に完成し、平成 22 年 12 月 20 日から業務が開始されました。

新しい二戸警察署は、県北地域の治安維持の拠点として、住民に親しまれる施設とするため、デザインはシンボル性のあるものとし、1階玄関には広がりのあるホールを設けるなど、ユニバーサルデザインに配慮した施設として整備しました。また、本県の公共建築物では初めて「ひとにやさしいまちづくり条例」に基づく意見聴取会を3回開催し、住民の皆さんからいただいた意見を新庁舎の計画に反映させています。そのほか、光ダクトの採用やLED照明、省資源型機器の導入など、省エネルギー、CO2削減等、環境にも配慮した施設としています。

整備箇所



旧二戸警察署



新しい二戸警察署



誰でも使える多目的トイレ



エントランスホール

一般県道平泉停車場中尊寺線「中尊寺通り」の整備について

～ 美しく魅力あるまちづくりの推進 ～

道路環境課

【中尊寺通りの概要】

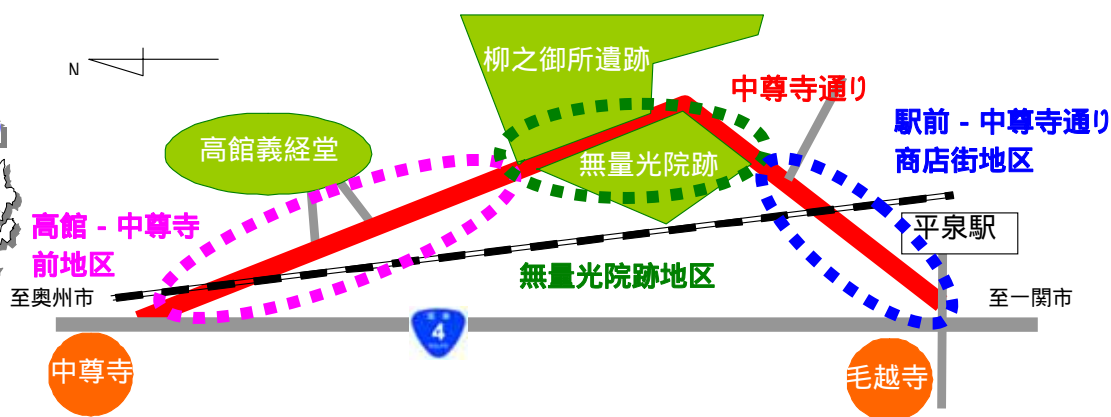
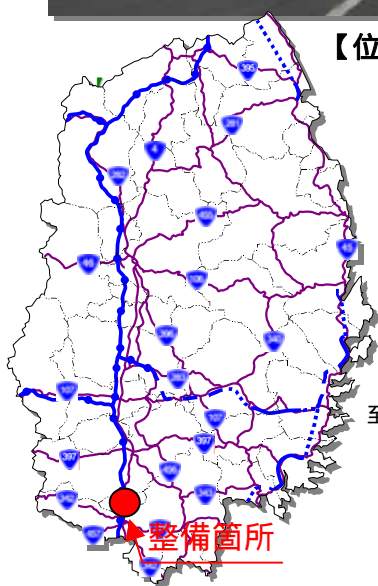
一般県道平泉停車場中尊寺線（通称「中尊寺通り」）は、JR平泉駅と中尊寺を結ぶ延長1.4km、幅員7.6m～11.0mの道路で、世界遺産登録を目指している「無量光院跡」「柳之御所遺跡」「中尊寺」を結ぶ観光上重要な道路であるとともに、地域住民の生活道路でもあります。しかし、現在の道路は、歩道が未整備のため歩行者の安全確保や、電柱・電線が景観を阻害している等の課題があります。

中尊寺通りのまちなみ



【位置図】

【概要図】



【整備に向けての検討状況】

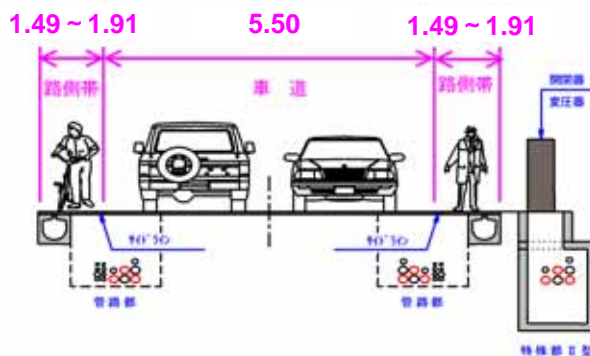
中尊寺通りは、世界遺産登録を目指しコアゾーンとして位置づけられている「中尊寺」「無量光院」「毛越寺」に通じる道路であることから、県では、平泉町が進めている「連歌方式による景観まちづくり」と連係を図りながら、整備のあり方について検討を進めています。

「連歌方式による景観まちづくり」とは??

「人が歩きたくなる景観」を創出するために、人が立っている場所からほど近い場所に次の景観資源が見えることにより、「そこに行ってみよう」と思わせるような景観づくり

【計画断面図】

[単位:m]



【中尊寺通りの整備検討の歩み】

～ 中尊寺通りまちなみ整備の方向性 ～

中尊寺通り全体を3地区に区分し、生活しやすく誇りを持てるまちなみ、「中尊寺への参道」らしいまちなみ、人の顔が見えるにぎわいのあるまちなみ、「浄土」や「やすらぎ」が感じられる歩行者にやさしいまちなみにします。人が歩きたくなる魅力的なまちなみにしていくために、「景観拠点」を作っていくことが必要です。

<H18～H21>

- 中尊寺通りまちなみ整備検討会設置（振興局、町、地元有識者、住民等）4回開催（H19.1）
- 中尊寺まちなみ整備検討会作業部会による社会実験（H19.12.5～11）
- 中尊寺通り交通量調査実施（国道4号平泉バイパス供用前H20.7、供用後H20.9）
- 中尊寺まちなみ整備検討会作業部会（H21.4、7、8）
- 住民説明会（H21.9.8～10：3地区で開催）歩車共存道路と電線地中化を提案（反対意見なし）
- 中尊寺通り路線測量の実施（H21）

<H22>

- まちなみ方向性及び中尊寺通り整備計画説明
- 電線地中化予備・詳細設計、道路詳細設計
- 道路景観設計（プロポーザル方式）
- 道路デザイン設計（道路デザイン検討会）
- 平泉町重要公共施設デザイン会議

道路デザイン検討会（住民協働部会）の開催状況



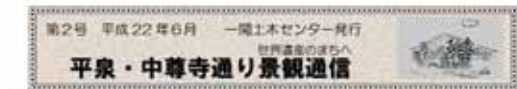
道路デザイン検討会（住民協働部会）の現地調査



【「平泉・中尊寺通り景観通信」の発行】

県では、住民の方々と情報共有し、一緒に平泉町らしい景観を守り育てるため、これまで7回発行しています。

道路デザイン検討会（作業部会）の開催状況



◇ねらい◇

景観づくりに関する情報を発信することで、住民の皆様と情報の共有を図り、一緒に平泉町らしい景観を守り育てることを目標に発行しています。

◇まちなみ整備の方向性の説明会開催される◇

中尊寺通りまちなみ整備検討会作業部会による「まちなみ整備」の方向性の説明会が6月7日（13区公民館）、8日（滝沢魚店）、11日（民家）で開催。あわせて一関土木センターから中尊寺通り整備の基本方針の説明を行いました。



【主な内容】

小野寺町作業部会会長から、まちなみ整備の方向性の概要、梶子を活用した緑地の取組み事例、動き始めたまちなみの変化について説明、報告がありました。また、一関土木センターの整備の基本方針説明について、出席者から多数の意見が寄せられました。⇒意見

- ① 照明灯をなくして足元灯にすれば（暗くなり）防犯上好ましくない。
- ② 防犯上から駅前のにぎわいに配慮した照明と同じようなものを設置しては、
- ③ 中学生（修学旅行）が聖堂を見て感動している、御小殿の光でよい。
- ④ 足元灯は踏歩車が来っても大丈夫か。
- ⑤ 足元灯など照明のサンプルを示して欲しい。
- ⑥ 地上機的设计はどのようなものか。
- ⑦ 車止めは雪払いに支障が出る。道路の除雪対策を考えるべき。
- ⑧ 舗装は毛織寺様と同じものになるのか。
- ⑨ 雪と側溝交差部が毎年1～2回あられて冠水するので改善が必要。

一関土木センターでは、頂いた意見を元に今後の設計の中で調査・検討していきます。

◇中尊寺通りの照明の実態◇

説明会での意見を受け、早速、中尊寺通りの各地区ごとに調査（6/8）した結果、照明施設は65灯あり、駅前から無量光沢地区まで概ね20m、高部・中尊寺地区は概ね40m間隔であることが分かりました。一関土木センターでは各地区の夜間の明るさを調査して、定量的評価を行うと共に、夢明かりによる灯照の競争を行い、今後のデザイン検討の基礎資料とする予定です（裏面のお知らせへ）。

	千手さん	御小殿	行灯	合計	備考
駅前・中尊寺通り地区	19	5	9	33	約16m間隔
無量光沢	4	5	5	14	約20m間隔
高部・中尊寺	6	7	11	24	約27m間隔
合計	29	17	25	71	約22m間隔



「八幡平アスピーテライン」、「樹海ライン」開通予定日のお知らせ

～ 4月15日「八幡平アスピーテライン」、4月28日「樹海ライン」が開通予定 ～

盛岡広域振興局土木部 岩手土木センター

岩手県の春の観光名所、壮大な雪の回廊が楽しめる「八幡平アスピーテライン」は、昨年より1日早い4月15日に開通する予定です。開通に向けて、岩手土木センターでは3月下旬から除雪作業を開始します。

「八幡平アスピーテライン」の開通に合わせて、盛岡広域振興局では、昨年好評だった「桜と雪の回廊キャンペーン」を今年も開催します。桜と雪の回廊を一緒に楽しめる全国でも希少な十和田八幡平国立公園の春を楽しんでみてはいかがでしょうか。

また、「樹海ライン」は、ゴールデンウィーク前の4月28日に開通する予定です。

(現地の気象条件等により、開通日が遅れる場合があります。)



「第3回 岩手県屋外広告物フォーラム」を 3月17日に開催します！

都市計画課

私たちのふるさと岩手は、岩手山や陸中海岸をはじめとする多くの美しい自然の風景や平泉文化に代表される歴史的な文化遺産など、素晴らしい景観に恵まれています。また、岩手にはこうした代表的なものだけでなく、いたるところに、豊かな自然、個性豊かな歴史や文化が映し出す素晴らしい景観があり、そこに住む人々やそこを訪れる人々に潤いや安らぎ、心の豊かさを与えてきました。

県では、このような良好な景観を保全するとともに大切に創り上げていくことにより、心豊かで活力ある地域社会を実現するため、平成23年3月17日(木)に「第3回岩手県屋外広告物フォーラム」を開催します。本フォーラムは、景観と調和し、まちの魅力を創出する優れた広告物を表彰し、その普及を促進することで、魅力ある県土の実現を目指すものです。

日時：平成23年3月17日(木) 13:30~16:00

入場無料

場所：プラザおでって おでってホール(盛岡市中ノ橋通1丁目1-10)

内容

第3回いわて広告景観コンクール表彰式

【講演】田中伸之氏(宝塚大学講師)による屋外広告物と景観の講演を予定
受賞作品の展示

~ 屋外広告物は、まちの賑わいを創出したり、おしゃれなまちを演出します。

この機会に、まちの景観を考えるヒントとして、屋外広告物について考えてみませんか。~

第3回「いわて広告景観コンクール」の作品もまだまだ募集中！！

(2月18日消印有効)

特に優れた作品には、賞状・記念品を授与し、作品を「プラザおでって」に展示します。推薦者にも記念品を授与します。夢のあるたくさんの作品の応募をお待ちしています。

【募集対象】

(1) 広告景観部門(既設部門)

県内で既に設置されている、景観と調和し、まちの魅力を創出する優れた屋外広告物の推薦を募集(現地の写真が必要)

(2) デザイン部門

「美しくまちにとけ込むサイン」をテーマに屋外広告物デザイン案を募集

ア その1「花巻空港に設置される県内観光地等を紹介する集合案内板」のデザイン

イ その2「2025年(15年後)の盛岡駅からみた広告風景」のデザイン

詳細は、下記ホームページをご覧になるか、県庁都市計画課までお問い合わせください。

(TEL: 019-629-5892)

【ホームページ】 <https://www.pref.iwate.jp/recept/form.rbz?cd=61>

大阪、札幌から日帰りOK!

いわて花巻空港を是非ご利用ください!

空港課

札幌(新千歳) いわて花巻

3月ダイヤからは朝便(8:00 札幌(新千歳)発)が設定され、札幌 岩手の日帰りも可能に!

1~2月ダイヤ				3月(3月26日まで)ダイヤ			
札幌	いわて花巻	いわて花巻	札幌	札幌	いわて花巻	いわて花巻	札幌
11:00	→ 12:00	9:35	→ 10:30	8:00	→ 9:00	9:30	→ 10:25
15:45	→ 16:45	17:15	→ 18:10	16:15	→ 17:15	17:45	→ 18:40

短い時間で楽々到着♪~いわて花巻空港利用と鉄道利用の比較~

札幌駅⇒岩手県(盛岡駅) (3月ダイヤの例)



いわて花巻空港イメージキャラクター「はなっぴー」

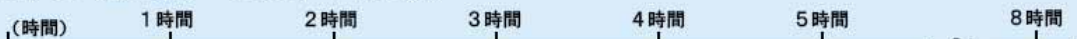
大阪(伊丹) いわて花巻

大阪(伊丹)発の朝便で、大阪 岩手の日帰りも可能。3月ダイヤからは昼便(12:30 大阪(伊丹)発)が設定され、ますます便利に!

1~2月ダイヤ				3月(3月26日まで)ダイヤ			
大阪(伊丹)	いわて花巻	いわて花巻	大阪(伊丹)	大阪(伊丹)	いわて花巻	いわて花巻	大阪(伊丹)
7:40	→ 9:05	12:30	→ 14:10	8:25	→ 9:50	10:20	→ 12:00
14:00	→ 15:25	15:55	→ 17:35	12:30	→ 13:55	14:25	→ 16:05
16:55	→ 18:20	18:50	→ 20:30	16:40	→ 18:05	18:35	→ 20:15

短い時間で楽々到着♪~いわて花巻空港利用と鉄道利用の比較~

大阪⇒岩手県(盛岡駅) (3月ダイヤの例)



いわて花巻空港イメージキャラクター「はなっぴー」

明日を担う若手職員を紹介します！

No.10 沿岸広域振興局土木部 宮古土木センター 技師 菊地広伸さん

美しい県土づくり NEWS では、県土整備部の明日を担う若手職員への突撃 お仕事インタビューを掲載しています。若手職員の日頃の仕事情況や、仕事に対する心意気などをご紹介しますので、ご期待ください。

第10回は、沿岸広域振興局土木部宮古土木センターの菊地技師です。

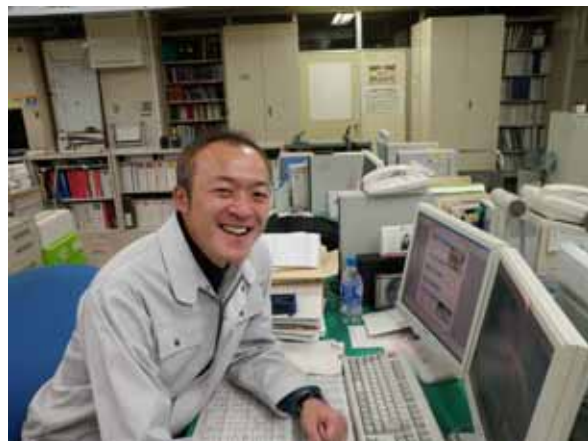
Q1 担当している仕事を教えてください

平成12年度入庁

遠野地方振興局土木部、県庁道路環境課で主に道路工事の設計監督業務や道路維持予算の管理、市町村道事業予算の取りまとめなどを担当してきました。

(現在)宮古土木センター4年目

主に港湾、海岸の維持管理業務や、設計、工事監督などを担当しています。



Q2 仕事の面白いところは何ですか？

採用から道路関係の業務を主に担当して来ましたが、宮古勤務になって港湾、海岸事業を初めて経験し、新たな分野を開拓することができました。特に宮古港では、ケーソン進水に昭和初期から活躍する函台を使用しているため、昔ながらの構造に先人の土木技術者としての知恵と心意気を感じることができます。また、現場や巡視に出る時、天気が良いと海がきれいで気分爽快です。

Q3 仕事の難しいところは何ですか？

海を生活の場としている人たちと、安全性や利便性の確保を目的とした施設整備のバランスをとることがとても難しく感じています。

また、管理している港湾施設の老朽化が著しいため、予想せぬ事態が起きることや、自分が生まれる前の設計書を探し出して対処方法を調べたりするのに苦労しています。

Q4 どんな職場ですか？

港湾海岸チームは総括主査と私の二人だけ。連絡調整もすぐに済みます。ただ6人分の机に2人だけというのも寂しいものですが、宮古土木センターは若手を中心に個性的なメンバーが多く、いろいろな話題が飛び交っており、飽きない職場です。

Q5 最後に一言(今後の抱負など)！

昨年は、諸事情により骨折してしまい、職場の皆さんに大変ご迷惑をおかけしました。今年は骨折しないでがんばろうと思った矢先、新年早々の風浪災害…。骨よりも心が折れないように、今後とも頑張ります！！



港湾改修の工事現場にて。風を遮るものがないため、冬は極寒です。ちなみに、このインタビューに出るのは実は3回目です。他の2回はこっそりと写っているのを探してみてください！！